

奈良市鳥見地区「鳥見ふらっと」に伺いました（令和7年9月30日）

はじめに

奈良市鳥見地区は、奈良市の西部に位置しており、静かな住宅街と自然が調和する暮らしやすい地域であるが、近年は高齢化の進行や地域のつながりの維持といった課題を抱えている。このような状況下で、地域共生を実現するため世代や属性を問わずに様々な実践を試みる“多機能拠点”である「鳥見ふらっと」が注目を集めている。



「鳥見ふらっと」とは

「鳥見ふらっと」は、奈良市社会福祉協議会が住民と協働で運営する、誰もが気軽に立ち寄れる地域の福祉拠点である。元々幼稚園だった建物を様々な人たちとワークショップを積み重ねてリノベーションし、地域住民や福祉事務所、テーマ型ボランティア等と連携した活動が展開されている。

住民同士の繋がりを深め、支え合いの仕組みを育てることを目的に様々な取組が行われている。



概要

【人口】（国勢調査 令和7年10月1日時点）

- 人口4,040人
- 年少人口（15歳未満）は443人
- 老年人口（65歳以上）は1,507人
- 高齢化率約37% （全国：約29% 奈良市平均：約32%）

【自然条件】

- 奈良市西部・北西部、富雄川沿いやその周辺丘陵も視野に入る地域で、比較的起伏・丘陵を含んだエリア

【地域の現状】

- 高齢化率が高く、医療・介護・生活支援ニーズが増加
- 一人暮らし高齢者や要介護高齢者が孤立

鳥見ふらっとの取組

鳥見ふらっとでは、地域住民の交流促進や高齢者支援など、多様な取組を実施している。

以下で、その取組の一部を紹介する。

まんま

● 自然にゆるやかにつながれるコミュニティースペース

- ・ 子どもからお年寄りまで、地域住民を中心に、人と人がゆるやかにつながっていける場所。
- ・ 1人1人が「自分の居場所」だと感じることができる場づくりを目指して、机や椅子、装飾・活動など様々なものを地域住民と職員とが、“一緒に”作ることで、地域住民が交流する機会を設けている。



まんまという名称には、
「あなたのままでいられる場所」、
「ママのような温かい場所」にしたい
という気持ちが込められています！



● 居るだけでOKボランティア「ぼちぼちさん」

- ・ 自分の好きなこと、得意なことを“ぼちぼち”しながら、ご自身が居心地よくまんまで過ごしてもらうことによって、まんまに訪れる人と自然につながり、輪や活動を広げてくれるボランティアさん。

「ぼちぼちさん」として実際に活動されている方は、「まんまの居場所づくりに関わってとても嬉しい。」とお話をされていました。



ねどこ

● 引きこもりや生きづらさを抱えた人などが集うことができる「居場所」

- ・ 雑談、読書、スマホをいじる、ゲームをする、作業や手仕事、黙って一人で過ごす、ごろごろする等、1人でも無理せず利用できる居心地よい居場所となっている。また、クッションや座布団を置くことで、座る・寝転ぶなど利用者それぞれが自分のペースで過ごせるような工夫をしている。
- ・ 奈良市社会福祉協議会との協働で、居場所づくりをしている6つの団体が交代で集まりを開催しており、本人や関係者からの相談や問い合わせを経て利用できる仕組みになっている。

その他活動内容

● 「もりもりキッチン」

毎月第4土曜日に「まんま」で開かれる地域食堂

運営は地域の“おばちゃん”と引きこもりがちな若者が担っており、一緒にカレーを作っている。引きこもりがちな若者にとって社会とのつながりを少しずつ取り戻すきっかけとなっている。また、地域の“おばちゃん”にとっても、若者を知ることによって価値観を広げることにもつながっている。



● 「野菜市」

ボランティアの方などが地域菜園で収穫した野菜の販売

当初は「デイサービスセンター」という看板が全面に出ていたこともあり地域住民にとっては“介護サービスを受ける場所”という印象が強かったため、利用に繋がりにくかった。そこで職員が、施設の外で野菜の販売をするなどし、気軽に誰でも立ち寄れる雰囲気づくりを進めた。その結果、利用者は増加し、現在では多くの地域住民が利用している。また、1人暮らし高齢者の安否確認や声かけの場として地域の見守り機能も果たしている。



鳥見ふらっとの取組みの一部を紹介した看板

「鳥見ふらっと」への訪問を終えて

- ・「鳥見ふらっと」は、地域に根差した多機能拠点として、地域交流の場づくり、高齢者の見守りといった課題に総合的に取り組むモデルといえる。
- ・運営の中心に社会福祉協議会だけでなく、地域住民やボランティア団体など多くの主体が関わっていることも特徴で、地域全体で取組を支えている点が印象的である。
- ・今後もこのような取組が継続・発展・波及することで、地域住民同士の繋がりが更に広がり、誰もが安心して暮らせるだけでなく、地域全体の活性化が進んでいくことが期待される。



まんまの外観（元幼稚園の職員室をリノベーションして使用）